

1 総合学科

- 普通科目と専門科目からなる多くの選択科目を設け、生徒が興味・関心や将来の進路に応じて選択して学習できる学科で、進学にも就職にも対応できる。
- 体系的・専門性において相互に関連する科目群（「系列」と言う。）を複数設けることにより、特色ある教育課程の編成が可能である。
- 1年次に履修する「産業社会と人間」において、体験的な学習を通して、産業社会における自己の在り方生き方について考えた上で、科目履修計画を作成することにより、充実したキャリア教育が実施できる。

| 設置年度 | 学校名 | 設置系列名（※設置時の系列） |
|----------------|------|--|
| H7（全） R4（定） | 庄内総合 | （全日制）教養、スポーツ・芸術、生活・福祉、産業クリエイト （定時制）教養、生活・産業 |
| H10 | 鶴岡中央 | 情報ビジネス、美術・デザイン、家政科学、社会福祉 |
| H11 | 天童 | 文理総合、ビジネス総合、福祉保育総合 |
| H16 | 高畠 | 生活福祉、地域創造、文理総合 |
| H19 | 北村山 | 文理教養、文理ビジネス、スポーツサイエンス、ライフデザイン |
| H25 | 左沢 | 教養、総合ビジネス、果樹園芸 |
| H25 | 荒砥 | 文理総合、ビジネス教養 |
| H27 | 遊佐 | 教養、地域共生 |
| R5 | 米沢工業 | （定時制）教養、産業 |

2 総合選択制

- 普通科、農業科、工業科などの複数の学科を併設し、所属する学科の学習を重点的に行いながら、一部の科目について、学科の枠を越えて選択して学習できる。
- 将来の進路希望等に応じて、所属学科の専門性を高めたり、異なる学科の科目を選択して、6次産業化に対応できる力を身に付けたりすることができる。
- 1年次に、総合学科における「産業社会と人間」と同じ趣旨の学校設定科目を開設するため、充実したキャリア教育が実施できる。

| 開校年度 | 学校名 | 設置学科 |
|------|--------|------------------|
| H15 | 新庄神室産業 | 農業科、工業科（商業科 R6～） |
| H24 | 酒田光陵 | 普通科、商業科、工業科、情報科 |
| H26 | 村山産業 | 農業科、工業科、商業科 |

3 中高一貫教育

（1）連携型

- 市町村立中学校と県立高校が連携し、6年間の計画的かつ継続的な教育を施し、生徒の個性の伸長、体験学習の充実等を図るための特色ある教育課程を編成する。
- 連携型中学校から連携型高校への入学者選抜については、学力検査を行わず、「学習のまとめ」及び面接に基づいて行う。

| 設置年度 | 学校名 | 教育課程の特色 |
|------|-----------|-----------------------------|
| H13 | 金山（現新南金山） | 「金山タイム」など、地域との連携や特性を生かした教育 |
| H13 | 小国 | 「国際・情報」を中心としたコミュニケーション能力の充実 |

(2) 併設型

- 平成28年4月 東桜学館中学校・高等学校開校
- 令和6年4月 致道館中学校・高等学校開校予定
- 併設型の中学校から高校への進学は意思確認のみで可能。教育課程の基準の特例を生かし、高校の内容を中学校で学習するなど6年間の計画的・継続的な教育課程の編成が可能

4 単位制

- 学年による教育課程の区分がなく、3年以上在籍し、学校で定めた基準以上に修得単位が累積した場合卒業が認められる。
- 国による教員の加配を活用し、生徒の興味・関心や将来の進路希望等に応じた多様な選択科目の開設が可能である。

| | |
|----------|---|
| 定時制・通信制 | ⇒ 全校 |
| 総合学科、探究科 | ⇒ 全校 |
| 普通科 | ⇒ 鶴岡中央 (H10)、金山 (H13)、鶴岡北 (H15)、酒田西 (H16) |
| 専門学科 | 米沢東 (H23)、酒田光陵 (H24)、寒河江 (H25)、長井 (H25) |
| 理数科 | 新庄北 (H26)、東桜学館 (H28)、山形西 (H29)、鶴岡南 (R4) |

5 多部制定時制・通信制高校

- 霞城学園高校
 - ・ H9にⅢ部・Ⅳ部、H13にⅠ部・Ⅱ部を設置。霞城セントラルビル内に移動し全面開校。
 - ・ Ⅰ部(午前の部)、Ⅱ部(午後の部)、Ⅲ部(夜の部)、Ⅳ部(通信制)を併設し、生活スタイルに合わせて、多様な学習形態から選択することができる。
 - ・ 所属する部の科目に加えて、他の部の科目も選択することにより、3年間の在籍で卒業することが可能である。
- 庄内総合高校
 - ・ 令和4年度に、鶴岡工業(定)鶴岡南(通)を統合し、全日制(総合学科)、定時制(総合学科)、通信制(普通科)併設校として開校

6 キャンパス制

- 小規模校が、将来の統合を視野に、近隣の高校と連携・交流することにより、教育環境の改善を図る。1学年1学級の高校は原則導入、2～3学級の高校は地区ごとの検討委員会等による検討を踏まえ、導入を進める。
- 連携・交流の具体例としては、教員が移動しての出張授業、合同の学校行事や学習成果発表会、合同の教員研修などがある。

| 導入年度 | キャンパス制導入校と現在の学級数 |
|------|---|
| H25 | 寒河江(5学級) — 谷地(2学級) 寒河江工業(3学級) — 左沢(2学級) 長井工業(3学級) — 荒砥(1学級) |
| H26 | 新庄北(5学級) — 新庄北最上校(1学級) 新庄南(3学級) — 新庄南金山校(1学級) |
| H27 | 新庄神室産業(4学級) — 新庄神室産業真室川校(1学級) |

7 探究科及び普通科探究コース(H30設置) ※R8開校の新庄新高校に探究科設置予定

| | |
|----------|------------------------------------|
| 探究科 | 山形東(探2・普4)、米沢興譲館(探2・普3)、酒田東(探2・普3) |
| 普通科探究コース | 寒河江、新庄北、長井(いずれも探究コース1、一般コース4) |